

目次

第1章 概要	1
第2章 桁端部を模擬した供試体における施工性評価	12
2.1 試験概要	12
2.2 試験ケース	13
2.3 供試体	14
2.3.1 撤去桁の概要	14
2.3.2 桁端部の条件	20
2.3.3 供試体の概要	23
2.4 試験方法	26
2.4.1 素地調整の方法	26
2.4.2 塗装の方法	30
2.4.3 供試体の着目部位	31
2.4.4 適用位置	32
2.5 試験結果	34
2.5.1 素地調整の施工性評価	34
2.5.2 塗装の施工性評価	57
2.6 まとめ	60
第3章 供試体を用いた塗り重ね部の仕様検討	61
3.1 試験概要	61
3.2 試験ケースと試験体製作	61
3.3 付着力試験	66
3.3.1 碁盤目試験	66
3.3.2 プルオフ試験	71
3.4 曝露試験	76
3.4.1 試験方法	76
3.4.2 試験結果	77
3.5 まとめ	88
第4章 実橋における試験施工	89
4.1 試験概要	89
4.1.1 対象橋梁の概要	89
4.1.2 試験施工の概要	91
4.2 実施後の状況	93
4.3 まとめ	94